

令和元年度事業報告書  
(社会福祉法人あけぼの福社会)

社会福祉法人あけぼの福社会

## 令和元年度社会福祉法人あけぼの福祉会事業報告

### 1 事業の総括

令和元年度は、次の点を法人の重点として取組み、概ね目的を達成できたものと考えています。

#### (1) 支援の基本姿勢

各施設及び事業所は、法人の定款・倫理規定等に則り、利用者の意向を尊重して多様な福祉サービスを総合的に提供するとともに、利用者が個人の尊厳を保持しつつ自立した生活を、施設内及び地域社会において営むことを目標として支援に取り組みました。

#### (2) 職員の資質及び支援技術の向上・利用者支援の充実

管理監督者は、職員に対する指導・管理能力を高めるとともに、職員に対し各種会議や研修等に積極的に参加させました。施設・事業所内においては、職場研修をとおして施設利用者の人格を真に尊重する精神、職務に対する責任感、自ら進んで職務を遂行する意識の醸成を図りました。

#### (3) 職員の支援技術・資質の向上

職員に資格取得を奨励し、試験日の勤務調整等を実施しました。また、人事考課時に各職員に目標を持たせ資質向上に努めました。

#### (4) 人材の確保

職員の人材確保のため、道内大学等へ求人活動を行い、また将来の担い手となる地元小学校との交流や高校生のインターンシップ受け入れを行い福祉を身近に感じてもらう機会を作りました。

#### (5) 働き方改革関連

働き方改革関連法に適合させるため、有給休暇5日消化できるよう勤務調整や出退勤管理システムの導入しそれに合わせた規程を整備しました。

#### (6) PR活動

あけぼの学園で作成していた広報誌を、法人全体のものとしてリニューアルし、全事業所の活動を掲載したほか、ホームページを随時更新しPR活動に取り組みました。

#### (7) 社会福祉法改正に伴う新しい定款に則り、理事会、評議員会、監事の新体制において、適正な法人運営を行いました。

また、地域貢献の取組みとして、サンライズでは、日本ハムベースボールアカデミーによる岩宇四ヶ町村の小学生を対象とした野球教室を開催しました。あけぼの学園では、岩宇四町村の特別支援学級や岩内町内小学校との交流会を行うとともに、岩内町の敬老会に「ポストカード」を贈呈するなど、

施設・事業所の持つ機能を活用した地域貢献に取り組みました。

(8) 岩内あけぼの学園における支援

安全・安心で健康的な生活環境の中で、利用者のメリハリのある生活の支援に取り組むとともに、高齢化や困難性の高い支援に対応できるよう研修に参加させ、支援内容を改善しました。また、各種加算措置を活用し支援スタッフや支援サービスの強化を図りました。

(9) サンライズにおける支援

就労移行事業では、平成25年度から平成29年度まで毎年度1名の一般就労実績がありましたが、昨年度と同様一般就労に結び付けることが出来ませんでした。就労継続支援B型事業では、それぞれの特性や希望などに応じた支援に取り組みました。生活介護事業では、料理等のレクリエーションを行い、メリハリのある活動に取り組みました。

ベーカリーサンライズでは、学校給食用パン等地域の販売をメインに置きつつ、新商品の開発に取り組みました。新型コロナウイルスによる休校により売り上げ減少の影響を受けました。

ワークスサンライズでは、清掃業務などのほか岩内町からの水道メーター解体業務を受託しました。新型コロナウイルスにより清掃業務に入れなくなり売り上げ減少の影響を受けました。

チアフルサンライズでは、通所利用者のニーズの多様化に対応し、生活介護事業による新たな活動として農作活動を支援に取り組みました。

(10) アットホームのぞみ（グループホーム）における支援

利用者個々の状況に応じた経済的自立と安定した地域生活が継続できるよう日々の支援に努めるとともに、夜間の支援員を配置し夜間支援や防犯・災害対策体制を確保しました。

利用者のニーズに応え、グループホーム建物に隣接するアパートの一室を賃貸し、一人暮らしを支援するサテライト型支援について継続して取り組みました。

(11) 障がい者相談支援事業の実施

岩宇4か町村の委託を受け、地域で生活している障がい児・者やその家族などに対する相談業務と、障がい福祉サービス利用児・者の計画相談業務などを行いました。また、岩宇4か町村、障がい・福祉・医療などの関係機関・団体などで構成する地域自立支援協議会の事務局業務を岩宇4町村とともに一部を担いました。

相談業務について、困難ケースが多くなってきていることから、今後とも委託4町村との調整や連携の充実を図っていく必要があります。

(12) 利用者の安全・安心の確保と広域避難体制確立

各施設・事業所において、定期的に防災訓練を実施し、職員の災害時における役割の確認と利用者の防災意識の向上に取組みました。

北海道原子力防災訓練に参加しましたが、北海道社会福祉事業団太陽の園及び清水旭山学園との広域避難協定に基づく協定先施設への移動訓練は、冬期間であったことと、新型コロナウイルスの影響を考慮して行わず、通信訓練のみを行いました。

## 2 苦情解決第三者委員の活動

令和元年度においては、岩内あけぼの学園で苦情の申し立てが数件ありました。サンライズ・グループホームはともに、苦情の申し立てはありませんでした。第三者委員による施設・事業所の訪問時に状況を報告し、また、日常的な状況の把握と利用者からの意見聴取をいただき、支援の実態についての理解を得ております。

## 3 法人役員の研修

令和元年度は、北海道社会福祉法人経営者協議会主催の札幌市で開催された社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会、法人経営実務セミナーに参加し、「社会福祉法人の経営」などについての研修を受講しました。

# 事業報告書付表

## I 理事会開催と審議事項

開催期	開催年月日	審議事項	出席理事・監事
第 213 回	R1.5.31	1 平成 30 年度事業報告及び会計決算に係る監事監査の結果について 2 平成 30 年度社会福祉法人あけぼの福祉会事業報告について 3 平成 30 年度岩内あけぼの学園事業報告について 4 平成 30 年度サンライズ事業報告について 5 平成 30 年度アットホームのぞみ事業報告について 6 平成 30 年度岩宇地区相談支援センター事業報告について 7 平成 30 年度法人本部拠点区分決算について 8 平成 30 年度岩内あけぼの学園拠点区分決算について 9 平成 30 年度サンライズ拠点区分決算について 10 平成 30 年度アットホームのぞみ拠点区分決算について 11 平成 30 年度岩宇地区相談支援センター拠点区分決算について 12 基本財産の処分について 13 定款変更について 14 評議員に提案する次期法人役員推薦名簿について 15 職員研修等補助要綱の一部改正について 16 評議員会の開催日及び提案事項について 17 その他	理事 西崎、小林、 竹村、波田、 東山、小野、 宮内、 監事 本間、吉田

開催期	開催年月日	審議事項	出席理事・監事
第 214 回	R1.6.21	1 理事長の選定について 2 その他	理事 西崎、小林、 竹村、波田、 東山、小野、 宮内 監事 本間、吉田
第 215 回 (書面)	R1.8.9	1 給与規程の一部改正について	理事 西崎、小林、 竹村、波田、 東山、福嶋、 小野、宮内 監事 本間、吉田
第 216 回	R1.10.16	1 令和元年度第 1・四半期監事監査の結果について 2 令和元年度法人本部拠点区分資金収支補正予算について 3 令和元年度岩内あけぼの学園拠点区分資金収支補正予算について 4 令和元年度サンライズ拠点区分資金収支補正予算について 5 令和元年度アットホームのぞみ拠点区分資金収支補正予算について 6 令和元年度岩宇地区相談支援センター拠点区分資金収支補正予算について 7 その他	理事 西崎、小林、 東山、福嶋 小野、宮内 監事 本間、吉田
第 217 回	R1.12.16	1 令和元年度第 2・四半期監事監査の結果について 2 令和元年度法人本部拠点区分資金収支第 2 回補正予算について 3 令和元年度岩内あけぼの学園拠点区分資金収支第 2 回補正予算について 4 令和元年度サンライズ拠点区分資金収支第 2 回補正予算について	理事 西崎、小林、 竹村、波田、 東山、小野、 宮内 監事 本間

開催期	開催年月日	審議事項	出席理事・監事
		5 令和元年度アットホームのぞみ拠点 区分資金収支第2回補正予算について 6 令和元年度岩宇地区相談支援センタ ー拠点区分資金収支第2回補正予算に ついて 7 就業規則の一部改正について 8 利用者預り金取扱規程の一部改正に ついて 9 その他	
第218回 (書面)	R2.1.18	1 サンライズにおける就労移行サービ スの廃止について	理事 西崎、小林、 竹村、波田、 東山、福島、 小野、宮内、 監事 本間、吉田
第219回	R2.3.24	1 令和元年度第3・四半期監事監査の結 果について 2 令和元年度法人本部拠点区分第3回 補正予算について 3 令和元年度岩内あけぼの学園拠点区 分資金収支第3回補正予算について 4 令和元年度サンライズ拠点区分資金 収支第3回補正予算について 5 令和元年度アットホームのぞみ拠点 区分資金収支第3回補正予算について 6 令和元年度岩宇地区相談支援センタ ー拠点区分資金収支第3回補正予算に ついて 7 令和2年度社会福祉法人あけぼの福 祉会経営計画について 8 令和2年度岩内あけぼの学園事業計 画について 9 令和2年度サンライズ事業計画につ いて	理事 西崎、小林、 東山、竹村、 波田、福島、 小野、宮内 監事 本間、吉田

開催期	開催年月日	審議事項	出席理事・監事
		10 令和2年度アットホームのぞみ事業計画について 11 令和2年度相談支援事業所事業計画について 12 令和2年度法人本部拠点区分資金収支予算について 13 令和2年度岩内あけぼの学園拠点区分資金収支予算について 14 令和2年度サンライズ拠点区分資金収支予算について 15 令和2年度アットホームのぞみ拠点区分資金収支予算について 16 令和2年度岩宇地区相談支援センター拠点区分資金収支予算について 17 岩内あけぼの学園活動棟増築工事について 18 就業規則の一部改正について 19 給与規程の一部改正について 20 その他	

## II 評議員会開催と審議事項

開催期	開催年月日	審議事項	出席評議員・監事
第38回	R1.6.21	1 平成30年度事業報告及び会計決算に係る監事監査の結果について 2 平成30年度社会福祉法人あけぼの福祉事業報告について 3 平成30年度岩内あけぼの学園事業報告について 4 平成30年度サンライズ事業報告について 5 平成30年度アットホームのぞみ事業報告について 6 平成30年度岩宇地区相談支援センター事業報告について 7 平成30年度法人本部拠点区分決算	評議員 加藤、倉又、佐々木、谷脇、千葉、野沢、森、吉住  理事 西崎、小林、小野、宮内 監事 本間、吉田



開催期	開催年月日	審議事項	出席評議員・監事
		について 8 平成30年度岩内あけぼの学園拠点 区分決算について 9 平成30年度サンライズ拠点区分決 算について 10 平成30年度アットホームのぞみ拠 点区分決算について 11 平成30年度岩宇地区相談支援セン ター拠点区分決算について 12 基本財産の処分について 13 定款変更について 14 次期法人役員を選任について	

### Ⅲ 監事監査の実施状況

実施年月日	監査方法及び内容	監査結果
R1.5.20	<p>各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。</p> <p>以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。</p> <p>さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録並びに利用者預り金出納簿等について検討いたしました。</p>	<p>① 事業報告等の監査結果</p> <p>一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。</p> <p>二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。</p> <p>② 計算関係書類及び財産目録の監査結果</p> <p>計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。</p> <p>③ 施設利用者預り金について、適正に執行されているものと認めます。</p>

実施年月日	監査事項	監査結果
R1.9.17	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度法人本部拠点区分第一・四半期収入、支出状況について</li> <li>2 令和元年度岩内あけぼの学園拠点区分第一・四半期収入、支出状況について</li> <li>3 令和元年度サンライズ拠点区分第一・四半期収入、支出状況について</li> <li>4 令和元年度アットホームのぞみ拠点区分第一・四半期収入、支出状況について</li> <li>5 令和元年度岩宇地区相談支援センター拠点区分第一・四半期収入、支出状況について</li> <li>6 施設利用者預り金について</li> <li>7 施設運営状況について</li> </ol>	適正に執行されているものと認めます。
R1.12.4	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度法人本部拠点区分第二・四半期収入、支出状況について</li> <li>2 令和元年度岩内あけぼの学園拠点区分第二・四半期収入、支出状況について</li> <li>3 令和元年度サンライズ拠点区分第二・四半期収入、支出状況について</li> <li>4 令和元年度アットホームのぞみ拠点区分第二・四半期収入、支出状況について</li> <li>5 令和元年度岩宇地区相談支援センター拠点区分第二・四半期収入、支出状況について</li> <li>6 施設利用者預り金について</li> <li>7 施設運営状況について</li> </ol>	適正に執行されているものと認めます。
R2.3.2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度法人本部拠点区分第三・四半期収入、支出状況について</li> <li>2 令和元年度岩内あけぼの学園拠点区分第三・四半期収入、支出状況について</li> <li>3 令和元年度サンライズ拠点区分第三・四半期収入、支出状況について</li> <li>4 令和元年度アットホームのぞみ拠点区分第三・四半期収入、支出状況について</li> <li>5 令和元年度岩宇地区相談支援センター拠点区分第三・四半期収入、支出状況について</li> <li>6 施設利用者預り金について</li> </ol>	適正に執行されているものと認めます。

実施年月日	監査事項	監査結果
	7 施設運営状況について	

#### IV 評議員選任・解任委員会開催状況

開催年月日	審議事項	出席委員
	開催実績なし	

#### V 苦情解決第三者委員活動状況

年 月 日	活 動 内 容
R1.7.18	岩内あけぼの学園来訪 ・岩内あけぼの学園利用者はばたけ会に参加・交流 ・平成31年1月から令和元年6月までにおける苦情等の報告
R1.12.19	岩内あけぼの学園来訪 ・岩内あけぼの学園利用者クリスマス会に参加・交流 ・令和元年7月から12月までにおける要望等の報告
R1.12.6	サンライズ利用者クリスマス忘年会に参加・交流
R1.12.26	サンライズ来訪 ・平成30年1月から令和元年12月までにおける要望等の報告

令和元年度  
岩内あけぼの学園

# 事業報告書

社会福祉法人あけぼの福祉会

# 目 次

I. 利用者の状況	P3
1. 入退所状況	P3
①岩内あけぼの学園(施設入所支援)	P3
②岩内あけぼの学園(通所・生活介護)	P3
2. 居室と担当職員の状況	P4～5
II. 職員の状況	P5
III. 見学・実習生の受入状況	P5
IV. 研修の状況	P6
1. 職場外研修の状況	P6～7
2. 職場内研修の状況	P8
V. 年間行事の実施状況	P8
VI. 生活支援の状況	P9
1. 各種スポーツ大会等の状況	P9
2. 社会生活活動の実施状況	P9
3. サークルとコンサート鑑賞の実施状況	P9
4. 避難訓練の実施状況	P9
5. 建物や設備の整備状況	P10
6. 生活棟(別棟)えみしあの運用について	P10
7. 通院や入院への対応について	P10
8. 新型コロナウイルスへの対応について	P10
9. リハビリ支援について	P10
10. 日帰り旅行の実施について	P10
11. 防犯への取り組みについて	P10
12. 学校との連携と将来的な人材確保について	P11
13. 広域避難訓練の実施について	P11
14. グループホーム ラフォーレの支援について	P11
15. 在宅(通所)利用者の支援について	P11
16. 記録管理システムについて	P11
17. 障がい者虐待防止法について	P11
18. 生活介護の定員の在り方について	P11
19. 利用料収入と支援スタッフの確保について	P11～12
VII. 食事提供業務の状況	P12
VIII. 健康管理の実施状況	P12
1. 日常生活における予防及び衛生	P12
2. 住環境の清潔と感染性疾患の予防	P12
3. 日常の健康管理	P12～13
4. 健康診断の実施と各種検診の受診	P13
5. 感染症罹患患者への対応について	P13
6. 新型コロナウイルスへの対応について	P13
IX. 苦情解決について	P13
X. 日中活動支援の状況	P14
1. 活動グループの状況	P14
2. 各活動グループの活動状況	P15
①生活介護Ⅰグループ	P15
②生活介護Ⅱグループ	P15
③生活介護Ⅲグループ	P16
④生活介護Ⅳグループ	P16
⑤生活介護Ⅴグループ	P17
⑥生活介護Ⅵグループ	P17

## I. 利用者の状況について

### 1. 入退所状況

#### ①. 岩内あけぼの学園、施設入所支援利用者動向

月	現員	施設入所支援状況		異動の状況
		入所	退所	
4	53			
5	54	1		T. Mさん(入所)
6	52		2	M. Tさん、K. Sさん(退所)
7	53	1		N. Tさん(入所)
8	53			
9	52		1	M. Kさん(退所)
10	52			
11	51		1	K. Kさん(退所)
12	51			
1	51			
2	51			
3	50		1	S. Kさん(退所)
合計	623	2	5	

#### ②. 岩内あけぼの学園、(通所)生活介護利用者動向

月	現員	通所利用状況		異動の状況
		通所	退所	
4	12			
5	11		1	T. Mさん(施設入所支援を利用)
6	11			
7	10		1	N. Tさん(施設入所支援を利用)
8	10			
9	10			
10	10			
11	10			
12	10			
1	10			
2	12	2		K. Tさん、S. Yさん
3	11		1	K. Sさん
合計	127	2	3	

2. 居室と担当職員の状況(令和2年3月31日現在)

① 施設入所支援サービス利用者

利用者名 (男性)	担当職員		利用者名 (女性)	担当職員	
	担当	副担当		担当	副担当
K. Kさん	N. S	H. S	Y. Hさん	I. T	E. T
U. Kさん	F. S	K. M	H. Hさん	T. M	A. M
K. Hさん	H. S	T. D	T. Mさん	I. T	K. M
M. Mさん	T. D	M. T	K. Kさん	M. A	E. T
K. Yさん	Z. K	O. K	O. Rさん	F. I	E. T
I. Gさん	O. K	Z. K	I. Rさん	F. M	I. T
M. Mさん	M. Y	N. S	H. Eさん	M. A	S. M
I. Hさん	Z. K	H. S	A. Tさん	N. K	K. N
T. Tさん	K. M	M. Y	N. Hさん	M. A	K. M
M. Sさん	H. S	N. S	E. Hさん	F. M	K. N
N. Tさん	K. M	O. K	T. Yさん	S. M	H. M
Y. Tさん	N. S	F. S	K. Sさん	N. K	M. A
O. Sさん	S. S	F. S	S. Sさん	A. M	F. I
T. Tさん	O. K	M. Y	T. Kさん	A. M	H. M
T. Mさん	M. T	H. S	O. Tさん	I. T	H. M
I. Kさん	F. S	T. Y	N. Yさん	N. N	T. M
T. Tさん	M. Y	M. T	S. Mさん	N. K	F. M
W. Tさん	N. S	S. S	I. Hさん	A. M	F. M
S. Kさん	S. S	K. M	W. Hさん	T. M	T. K
I. Zさん	F. S	T. Y	K. Yさん	K. N	S. M
S. Hさん	M. Y	S. S	T. Kさん	F. M	N. K
A. Sさん	S. S	O. K	K. Kさん	F. I	K. M
Y. Mさん	M. T	T. D	W. Aさん	T. M	N. N
T. Kさん	T. D	I. K	M. Tさん	N. N	T. M
N. Rさん	T. D	O. K	Y. Tさん	K. N	N. K

②通所部 (在宅日中活動サービス利用)

利用者名	担当窓口	副担当	利用者名	担当窓口	副担当
S. Kさん	T. Y	M. T	K. Tさん	H. S	T. D
A. Kさん	H. S	M. Y	N. Kさん	T. K	H. M
T. Kさん	O. K	H. S	D. Hさん	K. M	A. M
M. Hさん	K. M	F. S	A. Tさん	K. M	T. K
H. Yさん	K. M	Z. K	S. Yさん	S. M	T. M
K. Kさん	Z. K	T. D			

※個人情報の取り扱いにご配慮くださいますようお願いいたします。

<利用区分>

	施設入所支援	合 計	備 考
施設入所支援 利用者	男性 25名 (24名) 女性 25名 (26名)	50名(50名)	・カッコ内は定員
在宅(通所)利用者	男性 7名 女性 4名	11名	

II. 職員の状況について

月	職員動向		異動の状況
	採用・異動	退職	
4			
5			
6		1	Y. Y(退職)
7	1	1	M. Y(採用)M. K(退職)
8	1		N. T(採用)
9	1		M. H(採用)
10	1		O. M(岩宇地区相談支援センターへ異動)
11			
12			
1			
2			
3	1	1	M. N(採用)S. S(退職)
合計	5	3	

III. 見学・実習生の受入状況

月	日	見学・実習生名
5	5/20~6/1	光塩学園女子短期大学実習生受け入れ(2名)
7	7/15~8/1	経専北海道保育専門学校実習生受け入れ(3名)
8	1	余市養護学校施設見学(8名)
8	8	札幌伏見養護学校施設見学(1名)
9	19	札幌市清田区民生委員・児童委員施設見学(20名)
10	15	北広島福祉会施設見学(35名)
10	18	歌棄慈光園施設見学(11名)
11	6~7	岩内高校インターンシップ事業(3名)
	20	岩内町西小学校5年生交流会(49名)
	22	歌棄慈光園施設見学(12名)
	22	札幌市新川地区民生委員施設見学(20名)
	26	岩内町東小学校4年生交流会(36名)



#### IV. 研修の状況

##### 1. 職場外研修の実施状況

月	日	研修名	開催地	派遣職員
4	9～11	強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践コース	福岡県	A. M、K. N
	12	平成 31 年度 後志知的障がい福祉協会定期総会	小樽市	園長、S. M、F. M
	26	第 1 回支援研究委員会	小樽市	F. M
5	9	岩内地方栄養士会定期総会、座談会	岩内町	K. Y
	15	岩宇地区自立支援協議会 第 1 回 担当者会議	共和町	O. K
	22	2019 年度定時総会	札幌市	園長
	22～23	2019 年度 全道施設長セミナー	札幌市	園長、S. M
	24	第 2 回支援研究委員会	小樽市	F. M
	26	2019 年度北海道知的障がい児・者家族会連合会 研修会及び総会	札幌市	O. K
6	5	令和元年度法定講習会	岩内町	K. M
	6～7	令和元年度 施設見学 1 グループ	札幌市	M. K、M. A、T. A S. S、K. M
	7	平成 31 年度広報講習会	札幌市	O. K
	10	令和元年度 施設職員スキルアップ講座 中堅職員 編	札幌市	M. T、N. K
	12～13	令和元年度 施設見学 2 グループ	札幌市	園長、O. K、M. T、 T. D、T. Y、O. F N. N
	13	第 3 回支援研究委員会	小樽市	F. M
	19	災害対策委員会	札幌市	園長
	20	2019 年接遇講習会	札幌市	F. S、K. N
	20～21	令和元年度 施設見学 3 グループ	札幌市	M. K、H. S、F. M K. Y、K. N
	20～21	防火管理者講習	岩内町	K. M、M. T
	27～28	令和元年度 施設見学 4 グループ	札幌市	園長、O. K、K. M F. S、I. K、F. I、 A. M、A. S
7	4～5	令和元年度 施設見学 5 グループ	函館市	O. K、T. M N. K、 M. Y、O. K
	10～11	令和元年度 施設見学 6 グループ	北広島市	S. M、S. M、H. O N. S、Z. K、
	11～12	令和元年度 新任経理・総務担当者研修	札幌市	T. M
	12	第 4 回支援研究委員会	余市町	F. M
	18～19	令和元年度 看護師専門研修	札幌市	O. E
	19	PECS をはじめてみませんか？	小樽市	M. A、T. D
	22～23	令和元年度 全国知的障害関係施設長等会議	神奈川県	園長、M. K
8	1	令和元年度 権利擁護セミナー	札幌市	K. M、S. S
	6	放射線防護施設担当者研修会	積丹町	H. S、M. T
	16	第 5 回支援研究委員会	古平町	F. M
9	12	2019 年度北海道サービス管理責任者更新研修	余市町	S. M
	12	令和元年度(2019 年度)指定障害福祉サービス事業者 に対する集団指導の実施	倶知安町	M. K
	13	第 6 回支援研究委員会	黒松内町	F. M

	18	岩宇地区自立支援協議会 令和元年度第3回相談支援事業担当者会議	岩内町	O. K
	27	令和元年度 後志知的障がい福祉協会 権利擁護研修会	共和町	K. M、F. S、H. M
	27	令和元年度 災害対策研修会	札幌市	園長、M. K T. M、F. I
10	8	令和元年度 全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	O. K、S. M
	9	事故予防と緊急時対応研修	札幌市	M. Y、K. T
	11	第7回支援研究委員会	仁木町	F. M
	18	公益社団法人北海道栄養士会福祉栄養士協議会 令和元年度秋期研修会	札幌市	K. Y
	22~24	第57回全国知的障害福祉関係職員研究大会(鹿児島県大会)	鹿児島県	N. S、S. R
	29	2019年度北海道知的障がい児・者家族会連合会 第2回研修会	札幌市	M. T
	30	令和元年度 後志知的障がい児・者家族会連合会 交流会	小樽市	園長、M. K
11	5	令和元年度(2019年度)岩内保健所感染症講座	岩内町	S. R、K. Y
	6	第8回支援研究委員会	仁木町	F. M
	12~13	椎茸栽培研修会	苫小牧市	N. S
	14	令和元年度 防災業務関係者研修	仁木町	S. M
	18	令和元年度 業務説明会	札幌市	T. M、M. A
12	6	第9回支援研究委員会	岩内町	F. M
	6	令和元年度第1回岩内町福祉・介護・医療・教育関係 機関原子力防災連絡会	岩内町	園長
	10~11	2019年度 日中活動支援部会全国大会 北海道大会	札幌市	K. M、N. N
	12~13	令和元年度 4法人自閉症勉強会『強度行動障害支 援実践研修会』	仁木町他	M. A、T. D
	13~14	令和元年度 後志知的障がい福祉協会 職員研修会	小樽市	A. M、Z. K
	19	令和元年度(2019年度)給食施設等従事者研修会	岩内町	K. Y
1	15~16	令和元年度 幹部職員研修会	札幌市	S. M
	21	令和元年度 後志知的障がい福祉協会 第2回運営研究委員会	仁木町	園長
	27~29	2019年度 相談支援従事者研修[現任研修]	札幌市	H. S
2	7	社会福祉法人の予算策定 決算処理の実務解説	札幌市	T. M
	14	令和元年度 後志知的障がい福祉協会 希望の会部会「希望の会 広報誌作成」	仁木町	F. M
	17	令和元年度 臨時総会	札幌市	園長
	17~18	令和元年度 全道施設長研修会	札幌市	園長、M. K
	21	令和元年度札幌市知的障がい福祉協会職員研修会	札幌市	I. T、O. K、T. A
	28	令和元年度 日帰り施設見学1グループ	岩内町	園長、M. K、S. R K. M、M. H、 K. H、T. K、M. A H. H、H. J、
3	4	令和元年度 日帰り施設見学2グループ	岩内町	園長、S. M、I. T K. T、O. E、H. M E. T、M. Y、 K. M、N. S M. A、T. M
	13	後志知的障がい福祉協会支援研究委員会	小樽市	F. M

## 2. 職場内研修の実施状況

月 日	テーマ	講師	参加人員
6/4	基礎救命講習	岩内町消防署員、救急救命士	19名
7/30	交通安全と交通事故防止について	北海道札幌方面岩内警察署 交通課長	25名
10/17	(講演 1) 選ばれる社会になるための経営戦略と人材の採用 (講演 2) お子さんの気になる行動とそのワケ～作業療法士の観点から	株式会社3eee代表取締役 一視同仁会 札幌・すがた医院 作業療法士	11名
1/22	防犯対策講習会	北海道札幌方面岩内警察署 刑事・生活安全係	25名
2/6	障がい者の権利擁護について	権利擁護伝達研修修了者 主任F. M	30名
2/28	防犯対策講習会	北海道札幌方面岩内警察署 刑事・生活安全係	5名
			合計 115名

## V. 年間行事の実施状況

月	日	行事名	月	日	行事名
4	1 22	開園記念日 ランチ会	10	1 19 29 31	日帰り旅行(余市) 希望の会文化祭 ランチ会 はばたけ会行事
5	27	バーベキュー	11	2 26	利用者ボーリング大会 ランチ会
6	27	ランチ会	12	13 19	ローソン訪問販売 クリスマス会
7	7～9 26 31	岩内祭り 夏祭り ランチ会	1	24	新年会
8	27	ランチ会	2	3 14 20	節分行事 バレンタイン行事 ローソン訪問販売
9	10 20 26	日帰り旅行(ルスツ) " (余市ニッカ) バーベキュー	3	19 24	ローソン訪問販売 ランチ会

## VI. 生活支援の実施状況

### 1. 各種スポーツ大会等の状況

月 日	大会名	参加利用者、結 果	参加利 用者数
8/23	平成31年度後志知的障がい福祉協会 利用者パークゴルフ大会(倶知安町)	M. Mさん、S. Hさん、S. Mさん H. Hさん	4名
11/2	平成31回北海道障がい者ボウリング大 会(小樽市)	M. Mさん、I. Kさん、T. Kさん H. Hさん	4名

### 2. 社会生活活動について

余暇外出、プール、体育館での軽運動などそれぞれの目的にあわせて活動しており、平成31年度については以下を重点に支援した。

#### (1) 社会生活活動の内容について

- ・余暇外出では、町内の販売店や飲食店を利用して買い物を楽しんだ。また、冬期間は感染症流行時期で通院以外の外出を控えていたことから、コンビニエンスストアの訪問販売を利用して園内で買い物が行えるように支援した。今年度は計画的に体育館での軽運動やプールサークルを実施しており、余暇の充実と気分転換を図ることが出来た。
- ・月2～3回程度で5～6人が集まり、ハンドメイドサークルを開催し、園内に展示する作品や編み物を行った。
- ・利用者の方が活動に参加した際に、記録管理システム(クレヨン)へ確実に記録する事で、個別の参加状況を細かく把握できる様に取り組んだ。

### 3. サークル・コンサート鑑賞の実施状況

サークル・コンサート名	実施場所	実施日時	利用者登録	年間実施回数
ハンドメイドサークル	施設内	月2～3回程度	5～6名	25回
八代亜紀アコースティックコンサート	岩内地方文化センター 大ホール	2/14(金)	7名	1回

### 4. 避難訓練の実施状況

月 日	訓練の種類	訓練の内容	利用者参加人数	年間実施回数
6/26	自主訓練・消火訓練	通報訓練・避難訓練・消火訓練	77名	3回
9/30	自主訓練	土砂災害避難訓練	94名	
10/25	自主訓練	地震災害避難訓練	72名	

## 5. 建物や設備の整備について

- ア. プロジェクターとスクリーンの老朽化に伴い、11月5日に更新した。
- イ. 大友福祉振興財団から歩行訓練用階段の助成が決定し、11月15日に納品された。
- ウ. 体操プログラムが入ったカラオケ通信機器のリースを12月20日から開始した。
- エ. 第二作業棟(物置小屋)の解体作業が12月25日に終了した。
- オ. 清水基金に申請していた個別支援グループ活動棟増築工事の助成が決定し、新年度に工事を進める。
- カ. 平成20年度に大友福祉振興財団の助成によりAED(1台)を整備したが、型が古くなり部品交換も難しくなることから令和2年3月19日に更新した。

## 6. 生活棟(別棟)えみしあの運用について

生活棟(別棟)えみしあで若干利用者の方の入れ替えを行う中で高齢者に限らず、個々の特性に応じた利用者が生活できる環境とした。今後も見極めを行いながら運用を行うこととする。

## 7. 通院や入院への対応について

今年度は男女合わせて10名の利用者の方が入院となった。医療行為や身体機能の低下によりあけぼの学園での生活が困難となり、4名の利用者の方が退所となった。更に、病状悪化に伴い逝去された方が1名、退所後に逝去された方が1名となり、ご家族と共に辛い時間を乗り越えなければいけない状況であった。高齢化や病状悪化に伴い年々、入院に至るケースが増えていることから、町内の医療機関に受診した際、診断によっては小樽市や札幌市の医療機関へ再受診または医療行為が継続的に必要となるケースが増えている。今後も通院や入院に至るケースについて、学園とご家族とで連携を図りながら慎重に進めていく。

## 8. 新型コロナウイルスへの対応について

2月に国から感染症予防対策の徹底を図るよう通知があったことから、法人の対応に基づきあけぼの学園においても、体調管理、不要不急の外出を控え、ご家族においては面会等の制限をお願いした。また、感染症の発生に備え、衛生用品の確保、マニュアル等を整備した。今後も情報収集を行い、ご家族にご理解とご協力を頂きながら感染予防に努めていく。

## 9. リハビリ支援について

医師の指示の下、リハビリが必要であると診断を受けた利用者の方を対象とし、作業療法士が中心となり11月1日からリハビリを開始した。個々に合わせたプログラムを作業療法士が組み立て、支援ワーカーや看護師が連携して機能訓練を行った。今後も利用者個々の身体機能や生活状況を把握しながら専門的な支援を行う。

## 10. 日帰り旅行の実施について

9月と10月に利用者の方の希望を取りいれながら、3コースに分かれて日帰り旅行を実施した。例年通りご家族の参加も募り、短い時間ではあるが楽しい思い出を作ることが出来た。

## 11. 防犯への取り組みについて

1月22日、岩内警察署職員6名が来園し、職員への防犯講習会と実地指導を行った。当日は女子棟で感染症が流行しており、一部職員の参加となったことから、2月にサンライズで行われた防犯講習会へ新たに5名の職員が参加した。

## 12. 学校との連携と将来的な人材確保について

毎年行っている町内の小学生と利用者の方との交流会を行った。更に今年度は岩内高校のインターシップ事業により3名の生徒さんを受け入れ、福祉の仕事について体験してもらった。今後も地域へ向けたPRや将来的な人材確保に努めていく。

## 13. 広域避難訓練の実施について

原子力災害における原子力防災訓練を令和2年2月13日に実施した。今回は冬期間による訓練と新型コロナウイルス感染症発生に伴い、法人協定先への避難は行わず屋内退避と通報訓練のみ実施した。次年度も引き続き訓練を行い、有事の際に備えることとする。

## 14. グループホーム ラフォーレの支援について

サンライズの生活介護から学園の生活介護へ移行した利用者の方に対し、生活拠点であるグループホームと情報を共有し出来る限りのバックアップを行った。今後もグループホームと連携を図りながら、利用者の方が落ち着いて生活することができるよう支援する。

## 15. 在宅(通所)利用者の支援について

通所時は検温等を実施し、健康状態の把握を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、法人の対応に沿って、(自宅での検温、発熱時の対応、マスクの着用等)ご家族へ文書を発送した。

その他、通所後体調が優れない場合は、速やかにご家族へ連絡を行い、体調不良が悪化しないよう配慮し、ご家族の都合により自宅での生活が困難な場合は、短期入所の受け入れを可能な限り行った。

更に、他都道府県への入所を見据えた短期入所を希望された利用者の方について、岩宇地区相談支援センターと連携を図りスムーズに短期入所の体験利用が行えるよう支援した。

## 16. 記録管理システムについて

記録管理システムを活用し、利用者の方の日常の生活状況をきめ細かく把握し記録することを徹底し、そのデータを健康管理や個別ケース等の支援に活用した。

また、蓄積されたデータを活用しモニタリングやアセスメント(評価)を行ない、利用者の方の個別支援計画(ケアプラン)を策定した。

## 17. 障がい者虐待防止法について

障がい者虐待防止法を順守し、施設内における虐待防止委員会を毎月開催した。また、虐待防止に関わる研修会の定期的な開催と外部研修への参加を積極的に行なった。更に、職員は支援項目を確認するチェックシートの実施、利用者の方については利用者自治会(はばたけ会)を通して虐待についての説明を行った。

## 18. 生活介護の定員の在り方について

将来的な生活介護の定員のあり方について、岩宇地区相談支援センターと連携して調査を行う予定であったが、利用者の方が退所した事で、利用者の方の確保を優先した事により新しい事業調査は見送った。

## 19. 利用料収入と支援スタッフの確保について

国や利用者から支払われる一般的な支援費のほか、重度障がい者支援加算や人員配置体制加算などを活用し、施設の収入財源を確保したうえで、国が定める一定の配置基準以上(今年度実績は利用者1.7名に対して支援スタッフ1名以上)の支援スタッフにより、利用者に対する日々の支援サービスを提供することが出来た。更に、11月から若干ではあるがリハビリ加算の算定を加えている。

夜間は継続してあけぼの学園本体に職員3名、生活棟別棟(えみしあ)にも夜勤職員1名を配置し、今年度は男子棟夜間専門職員を確保したことから、新年度以降は夜間専門職員と日中支援職員とで協力を行い、更なる支援向上を目指すこととする。

## VII. 食事提供業務の状況

### 1. 選択食、希望食の実施

複数の料理からその場で好きなほうを選択する献立、メニューブックを参考にして自分の食べたい料理を自由にリクエストし、それを献立に反映させた。更に、利用者の方と職員とでおやつ作りを行い、実食を楽しんだ。

### 2. 行事食、野外での食事会の実施

毎月のランチ会、開園記念日、新年会などの行事食のほか、野外での食事会(炭火でのバーベキュー)を行った。

### 3. 特別食、エネルギー制限食の提供

腎臓疾患、糖尿病の利用者の方への特別食の提供、咀嚼、嚥下が困難である利用者の方への数種類に分けた刻み食の提供など、利用者の方の健康状態に合わせた食事の提供を行なった。

また、個人の年齢、体型、運動量、代謝量などを考え、通常の1,800kcalの食事のほか、若年層男女の2,000kcal、さらに1,600kcal、1,460kcalの食事提供区分を設定し、利用者の方の健康に配慮した。

## VIII. 健康管理の実施状況

### 1. 日常生活における予防及び衛生

①生活習慣として、うがい、手洗い及び手指消毒を行った。(洗面所や出入り口にはアルコール消毒液を常設)また、手拭用のタオルを用意し、一回毎一人一枚ずつ使いきるよう、更に感染時は紙ペーパーを使用することで感染拡大を防いだ。

②入浴時は全身の怪我や皮膚の状態を観察し、異常があれば看護師へ報告し迅速に対応するよう努めた。

### 2. 住環境の清潔と感染性疾患の予防

①毎日のトイレの消毒、又各月ごとに全館の消毒を行った。

②ハセツパー水(除菌・消臭効果のある微酸性次亜塩素酸水)に対応した噴霧器を男女各棟、えみしあのDルームに設置することで感染症の予防に努め、併せて加湿器も設置し温度及び湿度の調整に心掛けた。

### 3. 日常の健康管理

①検温を毎朝測定、異常のあるときは通院を行い、軽易の症状であれば常備薬で対応した。また、感染症が施設内で蔓延した場合は、1日3回検温を行い速やかに受診が行えるよう対応した。状況については、看護記録に記載するとともに記録システムに詳細な記録をとった。

②全利用者さんを対象に月1回体重測定を行った。また、体重の推移を細かくチェックする必要がある利用者の方については、毎週体重測定を行った。

- ③50歳以上の方と高血圧、循環器症状のある方については、毎日血圧測定と血中酸素濃度を測定し、50歳以下の方に対しては、週1回血圧測定を実施した。数値が安定しない利用者の方に対しては通院を行い、状況や様子については健康管理委員会や各ケース会議で協議した。また、肥満防止のために、食事量の検討、ウォーキング、近隣の体育館を利用した運動や体操などを行った。
- ④嚥下困難な利用者の方に対して「健口体操」を継続して行った。更に嚥下機能の低下が顕著となった利用者の方についてはリハビリ専門医へ受診、必要に応じて入院を行い、食事形態や支援の見直しを図った。
- ⑤男女各棟やえみしあを巡回し、利用者の方の健康状態をチェックした。
- ⑥インフルエンザの予防接種を行った。
- ⑦感染症対策として、研修への参加や支援ワーカーへの実演を行った。更に、感染症についての情報収集を行い、職員や利用者へ注意喚起を促すと共に衛生用品の備蓄管理を行なった。

#### 4. 健康診断の実施と各種検診の受診

- ①施設で実施する年2回の健康診断の他、岩内町で実施する各種検診(胃癌、乳癌、婦人科検診)を受診し、早期発見に努めた。また、身元引受人の了解を頂き、血液検査による癌検診(血液マーカー検査)、便採取による大腸がん検診を実施した。
- ②町内の歯科医院で治療が可能な利用者の方については町内で治療を行った。また、町内での治療が困難な利用者の方については、北海道大学歯学部へ通院し治療を行なった。

#### 5. 感染症罹患患者への対応について

毎年心配されているインフルエンザであるが、今年度は利用者4名、職員5名が罹患した。速やかに感染症対策(食事を男女別、罹患者は個室に隔離など)を行い女子利用者、女子職員のための罹患で終息した。更に3月に職員1名がノロウイルスに罹患し入院した。その後、施設内で感染性胃腸炎が蔓延し、利用者15名、職員14名の計29名が罹患した。保健所からのアドバイスを元に再度感染症対策を講じ、今後の対応に繋げていく。

#### 6. 新型コロナウイルスへの対応について

2月に入り、施設等で新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について、厚生労働省から文書で通知があり、あけぼの学園でも通所、入所利用者の方の身元引き受け人へそれぞれ文書を発送した。

また、利用者の方については通院以外の外出を控え、施設内への立ち入りや面会についても制限を設けた。更に、ゴールデンウィークは札幌圏への帰省を中止させて頂き、同じく通院においても病院側と相談し日程を延期するなどの対応を行った。職員についてはマスク着用を徹底した中での支援とし、体調管理や行動を含め注意喚起を行った。

### IX. 苦情解決について

今年度においても法人の苦情解決第三者委員の方に施設を訪問していただき、7月と12月の年2回内容を報告させて頂いた。身元引受人も含めた苦情と要望が11件あり、これらの機会にあわせて報告した。なお、12月は報告後にクリスマス会行事に参加して頂き、利用者の方との交流を図っていただいた。

また、朝の朝礼や毎月行なう利用者自治会の会議の中で、利用者の方から何点か要望が聞かれ、軽微な要望であった為、これについてはその都度解決した。



## X. 日中活動支援の状況

日中活動区分	生活介護(入所)	生活介護(通所)	生活介護(合計)	サンライズ(通所)
人数	49名	10名	59名	1名

### 1. 日中活動グループの状況について(令和2年3月31日現在) ※○印は活動グループ運営責任者

活動グループ名		平成30年度日中活動編成			在籍数	運営責任者
		利用者名				
生活介護	生活介護Ⅰ (いきいき)	I. Zさん	S. Kさん	T. Kさん	8名	○K. M A. M
		T. Kさん	M. Tさん	Y. Tさん		
		O. Rさん	T. Mさん			
	生活介護Ⅱ (のびのび)	N. Rさん	K. Yさん	T. Mさん	9名	○M. T T. M
		N. Tさん	Y. Hさん	S. Sさん		
		O. Tさん	K. Sさん	A. Tさん		
	生活介護Ⅲ (創作活動)	M. Sさん	Y. Tさん	I. Kさん	14名	○F. M M. Y
		T. Tさん	S. Hさん	W. Tさん		
		W. Aさん	W. Hさん	K. Kさん		
		N. Yさん	T. Yさん	E. Hさん		
生活介護Ⅳ (個別支援)	K. Hさん	T. Tさん	A. Sさん	9名	○M. A S. S A. K	
	I. Hさん	I. Gさん	S. Kさん			
	N. Hさん	H. Hさん	K. Tさん			
V (発達支援)	T. Tさん	O. Sさん	K. Kさん	6名	○N. K T. D	
	T. Kさん	S. Mさん	K. Kさん			
生活介護Ⅴ (しいたけ)	M. Mさん	M. Mさん	Y. Mさん	13名	○N. S F. S N. N	
	U. Kさん	M. Hさん	H. Yさん			
	A. Kさん	K. Kさん	A. Tさん			
	K. Yさん	I. Rさん	I. Hさん			
	N. Kさん					

※個人情報の取り扱いにご配慮くださいますようお願いいたします。

## 2. 各グループの活動状況について

### ①生活介護Ⅰ(いきいき)グループ

#### ○目標(重点目標)

- ①楽しんで活動に参加出来るように個々に応じた個別課題等を設定する。
- ②健康面に配慮しながら身体機能維持に向けたリハビリテーションを提供し、活動やストレス軽減・健康維持に努める。

#### ○どのような取り組みを行うか

- ①利用者の方が好む活動を提供する。
- ②検温と血圧を測定してから活動に臨む。また、活動中も利用者の方の健康状態などに留意した上で活動内容を提供する。
- ③学園内周辺の散歩や、個別にリハビリテーションを提供し身体機能維持に努める。
- ④レクリエーションを実施し、活動への意欲向上とリフレッシュに繋げる。

#### ○後期の取り組みに対する評価

- ①個別課題としてパズル、洗濯バサミや醤油キャップを使用した指先の運動、ビーズ作成、塗り絵など個々の特性に合わせた活動を提供しており、意欲を持って取り組んでいた。
- ②活動前に検温・血圧・血中酸素濃度を測定し、健康状態等に留意した上で活動しており、大きく体調を崩す利用者の方は見られなかった。
- ③作業療法士と連携し、近距離での散歩、身体機能維持運動を提供しながら、随時内容を見直す事で顕著な身体機能の低下等は見られなかった。
- ④ドライブや短距離の散歩に出掛けたり、えみしあ棟内で音楽に合わせた踊りなどのレクリエーションを行ない、活動への意欲向上や気分転換に繋げることができた。

### ②生活介護Ⅱ(のびのび)グループ

#### ○目標(重点目標)

- ①楽しんで活動へ参加出来るように活動内容を設定する。
- ②身体機能の維持とストレス軽減・健康維持に努める。

#### ○どのような取り組みを行なうか

- ①利用者の方の趣向に合わせて活動を提供する。
- ②利用者の方の心身の状態を把握した上で活動を提供する。
- ③冬期間は、園内歩行とドライブを取り入れ、気分転換を図る。
- ④ストレス軽減と活動意欲の向上に繋がるよう、レクリエーションの機会を設ける。

#### ○後期の取り組みに対する評価

- ①前期の活動を基にパズルやブロック、編み物など指先を使った活動や、ドリルやお絵かきなど個々の特性に寄り添った活動をしており意欲的に取り組んでいた。今後も、随時、個別課題の更新を行なっていく。
- ②朝のバイタルチェックや健康状態を把握したうえで、個別課題の他に作業療法士を中心に歩行訓練用階段やエアロバイク等を取り入れて活動に取り組んだ。
- ③冬期間は、個別課題の他に園内歩行や軽運動(階段昇降、エアロバイク)を取り入れ、運動不足にならないよう心掛け活動を提供した。ドライブについては、定期的ではなかったが気分転換の一環として行った。
- ④2月におやつ作りと昼食を兼ねてケンタッキーフライドチキンを食べている。簡単なおやつ作りを行うことで、楽しい時間を過ごす事が出来た。今後も活動への意欲向上へ繋がるようレクリエーションを実施する。

### ③生活介護Ⅲ(創作活動)グループ

#### ○目標(重点目標)

- ①楽しんで活動に参加出来るように個々に応じた創作活動を設定する。
- ②散歩や歩行訓練などの身体を動かす活動を取り入れ、身体機能の維持とストレス軽減・健康維持に努める。また心身のリフレッシュを図る為、レクリエーションなどを提供する。

#### ○どのような取り組みを行うか

- ①個々の能力や興味がある事、季節に応じた創作活動の内容を設定する。また、完成品を父母会等で配布を行ない、学園内で展示する事で、活動意欲の向上に繋げる。
- ②散歩や軽運動を取り入れ、健康維持に努める。
- ③レクリエーションを実施する事で、心身のリフレッシュを図る。

#### ○後期の取り組みに対する評価

- ①利用者の方の希望や特性に応じて、アクリルたわしの作成・行事等に使う創作物の作成や個別課題を提供し、取り組む事が出来た。また、障がい児親の会の卒業生へのプレゼント作りとして、初めてタイルコースターの作成を行った。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、卒業生を励ます会が中止となり直接渡すことは出来なかったが、意欲的に取り組んだことで良い作品を作ることが出来た。
- ②冬期間において、天候不順や感染症の流行もあって、散歩など体を動かす活動に取り組めなかったが作品作りを中心にいき、利用者の方も穏やかに過ごされており、活動中において体調を崩される方はいなかった。
- ③3月にレクリエーションとして、えみしあ棟でカレーライスとビーフシチューを選んで頂く形で利用者の方に昼食を提供している。屋内ではあったが楽しく過ごされており、次年度以降も感染症への配慮を行いながら継続する。

### ④生活介護Ⅳ(個別支援)グループ

#### ○目標(重点目標)

TEACCHプログラムの理念を取り入れた支援を提供しながら見通しの持てる活動を提供する。

#### ○どのような取り組みを行なうか

- ①個別課題を定期的に更新する。
- ②その都度、固執の変化に合わせ生活場面と連携を図りながら対応していく。
- ③レクリエーションを実施し、気分転換を図る。混乱を軽減するため、今回は活動グループ毎に行なう予定となっている料理実習をレクリエーションとして行なう。

#### ○後期の取り組みに対する評価

- ①随時課題の見極めを行ない、更新や改良を行なった。また、全体的に補修も行ない継続して使用で出来るようにした。
- ②その都度生活場面の様子を把握し、活動場面から変更可能な部分には対応を行なった。また、一部のケースにおいては、生活場面も含めた対応を行ない、活動中の行動の安定を図った。
- ③2月に活動棟で、食事(ピザ)を取り入れたレクリエーションを実施した。料理実習については、感染症流行に伴って実施出来ず延期となった。

## ⑤生活介護V(発達支援)グループ

### ○目標(重点目標)

- ①個々に合わせたスケジュール、個別課題を提供し、落ち着いた環境で見通しが持てる活動を提供する。
- ②様々な固執の変化に対応できるよう生活場面と連携を図り、その都度、支援や活動の見直しを行ない、落ち着いて活動に取り組めるよう配慮する。
- ③レクリエーションを設けることで活動への意欲向上に繋げる。

### ○どの様な取り組みを行うか

- ①個々に合わせた個別課題を更新し、その都度見極めを行いながら落ち着いて取り組める環境を整える。
- ②その都度、固執の変化に合わせ、生活場面と連携を図りながら対応する。
- ③活動参加への意欲向上を図れるよう、レクリエーションを実施し、活動への意欲向上に繋げる。

### ○後期の取り組みに対する評価

- ①個々に合わせて個別課題を作成した。しかし、課題を制作する時間が確保できず、一部しか課題の更新を行なうことができなかった。スケジュールの提示方法や促し方、環境については本人の取り組む状況を見極めながら、落ち着いた環境を整える事で穏やかに参加する事が出来ていた。今後、活動グループの再編成に伴い、利用者の方の異動も発生する為、利用者個々の取り組みについて引き継ぎを行なう。
- ②生活場面と連携し、利用者の方の状態把握を行ない、無理なく取り組めるように対応した。また、できるだけ活動を提供することでメリハリのある日課を組み立てることができた。
- ③3月にレクリエーションとして、町内の飲食店からオードブルを注文し昼食をとっており、利用者の皆さんは楽しんで食事をされていた。今後も利用者の方楽しんで頂き、意欲の向上に繋がるよう実施する。

## ⑥生活介護VI(しいたけ)グループ

### ○目標(重点目標)

- ①椎茸の品質の安定及び、委託販売店に安定した供給ができるように、計画的な製造量の確保に努める。
- ②活動メニューを個々の利用者の方に設定し、椎茸の栽培を通して活動に対する意識を養う。また、活動に対する基本的な動作が身に付けられるように支援する。
- ③軽運動やレクリエーション活動を適宜に取り入れ健康増進、心身のリフレッシュに努める。

### ○どの様な取り組みを行うか

- ①椎茸の栽培、関わる活動を分担して提供する事で活動に対する意識を高める
- ②ほだ木の運搬、椎茸採取、製造の補助業務を中心に活動を提供する。
- ③適宜、作業棟、休憩室、椎茸ハウス内の掃除を実施する。
- ④散歩等の運動やレクリエーション活動を行ない、健康の増進と気分転換を図る。

### ○後期の取り組みに対する評価

- ①椎茸に関しては、作業前、作業中に行なう内容について利用者の方に説明する事で、理解した上で活動に取り組んで頂く事が出来たが、発生が少なく活動の提供が十分ではなかった。
- ②ホダ木の運搬や採取等の補助業務は、職員と一緒に行った。
- ③適宜、活動終了後にハウス内や休憩室の掃除を職員と一緒に行った。
- ④椎茸栽培に関わる活動を中心に行なったことから、散歩等の運動は行なわなかった。  
11月にレクリエーションを行い、町内の焼肉店で食事会を行った。3月は町内の店舗よりお弁当を取り寄せ、デザートを作って活動休憩所にて食べている。利用者の方においては楽しんで参加されており、感染症への配慮を行ないながら今後も継続する。

**令和元年度  
多機能型事業所サンライズ  
事業報告書**

**社会福祉法人あけぼの福祉会**

## 《目 次》

1.	令和元年度利用者状況報告 . . . . .	— 1 —
2.	令和元年度職員状況報告 . . . . .	— 1 —
3.	令和元年度見学者・実習受入れ状況報告 . . . . .	— 2 —
4.	令和元年度研修・会議等状況報告 . . . . .	— 2 —
5.	令和元年度活動実施報告 . . . . .	— 4 —
6.	令和元年度年間行事実施報告 . . . . .	— 7 —
7.	令和元年度諸活動実施報告 . . . . .	— 8 —
8.	令和元年度防災訓練実施報告 . . . . .	— 9 —
9.	令和元年度工賃支給状況報告 . . . . .	別紙 1

## 1. 令和元年度利用者状況報告

### (1) 利用者の状況（令和2年3月31日現在）

	就労移行支援 (定員6名)	就労継続支援B型 (定員24名)	生活介護 (定員10名)	合計 (定員40名)
男	0名	23名	5名	28名
女	2名	13名	5名	20名
計	2名	36名	10名	48名

### (2) 利用契約（入退所）状況

区分	利用者氏名	利用契約・解約年月日	入退所経路
新規	K. Yさん	平成31年4月1日付	余市養護学校高等部卒業
新規	T. Rさん	平成31年4月1日付	余市養護学校高等部卒業
新規	T. Yさん	令和1年5月20日付	在宅
解約	K. Hさん	令和1年12月3日付	在宅
解約	K. Tさん	令和2年1月31日付	あけぼの学園通所へ異動
解約	K. Nさん	令和2年2月17日付	在宅
解約	T. Yさん	令和2年3月26日付	江別市へ引越し／転出
解約	S. Mさん	令和2年3月31日付	札幌市へ引越し／転出

### (3) 出身地の状況（令和2年3月31日現在）

	岩内町	共和町	泊村	森町	小樽市	八雲町	函館市	合計
男	20名	2名	3名	1名	1名	0名	1名	28名
女	15名	2名	0名	2名	0名	1名	0名	20名
計	35名	4名	3名	3名	1名	1名	1名	48名

### (4) 年齢別の状況（令和2年3月31日現在）

	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	合計	平均年齢
男	1名	8名	5名	4名	8名	2名	28名	35.1歳
女	2名	4名	7名	5名	2名	0名	20名	34.5歳
計	3名	12名	12名	9名	10名	2名	48名	34.8歳

※個人情報の取り扱いにご配慮くださいますようお願い致します。

## 2. 令和元年度職員状況報告

令和元年度職員の採用について

令和元年 6月 1日付 S. A 支援ワーカーを採用

### 3. 令和元年度見学者・実習受入れ状況報告

#### (1) 見学者受入れ状況

月 日	見 学 / 実 習 生	受入数
5/17	余市養護学校教員・生徒事業所見学	4名
7/19	事業所利用希望者見学（個人）	1名
8/6	小樽高等支援学校生徒・保護者見学	2名
10/18	株式会社 3eee 事業所見学	5名
10/25	事業所利用希望者見学（個人）	1名
10/30	事業所利用希望者見学（個人）	1名
12/2	札幌高等養護学校1年生徒・保護者 事業所見学	2名
2/6	事業所利用希望者見学（個人）	1名

#### (2) 実習生・現場体験受入れ状況

6/10～21	小樽高等支援学校2年生徒現場体験実習	1名
9/4～5	岩内第一中学校2年生職場体験学習	2名
9/12～27	小樽高等支援学校2年生徒現場実習	2名
10/31	岩内第二中学校2年生職場体験学習	2名
11/6～7	岩内高等学校インターンシップ	4名
12/2～6	余市養護学校通所部3年生徒現場体験実習	2名

### 4. 令和元年度研修・会議等状況報告

#### (1) 職場外研修の実施状況

研 修 名	派遣職員	実施日	開催地
電話対応&接遇マナー研修会	K	4/23	岩内町
2019年度全道施設長セミナー	M	5/22～23	札幌市
平成31年度第1回経験交流会議(@ワークしりべし)	K	5/31	小樽市
安全運転管理者講習会	S	6/5	岩内町
平成31年度広報講習会	K	6/7	札幌市
平成31年度第1回社会就労センター施設長・職員研修会	M	6/19～20	札幌市
令和元年度北海道知的障がい関係職員研修	S	7/4～5	札幌市
消費税改正対策セミナー	T	7/30	札幌市
令和元年度障害者虐待防止権利擁護指導者養成講座	K	7/31～8/2	札幌市
令和元年度権利擁護セミナー	K	8/1	札幌市
社会福祉法人のための消費税改正対策セミナー	K	8/6	札幌市
令和元年度指定障害福祉サービス事業等に対する 集団指導	K	9/12	倶知安町
令和元年度災害対策研修会	K	9/27	札幌市



令和元年度後志知的障がい福祉協会権利擁護研修	T / I / Y	9 / 27	共和町
令和元年度全道知的障がい関係職員研究大会	K	10 / 8～9	札幌市
令和元年度岩宇地区自立支援協議会主催講演会	M	10 / 17	岩内町
令和元年度北海道社会就労センター協議会 利用者の工賃向上と就労支援を考える研修会 (in 新冠、浦河)	S	10 / 17～18	新ひだか町
令和元年度岩内保健所感染症講座	S	11 / 5	岩内町
令和元年度共済会事務手続き説明会	K	11 / 18	札幌市
令和元年度経理担当者専門研修	K	11 / 22	札幌市
「働き方改革はこれからが本番」セミナー	K	12 / 3	岩内町
令和元年度第1回岩内町福祉・介護・医療・教育関係機関原子力防災連絡会	M / K	12 / 6	岩内町
令和元年度幹部職員研修会	M	1 / 15～16	札幌市
北海道行動援護従業者養成研修 (前期)	S	1 / 22～23	札幌市
北海道行動援護従業者養成研修 (前期)	K	2 / 7～8	札幌市
北海道行動援護従事者養成研修 (後期)	K	2 / 12～13	札幌市
北海道行動援護従事者養成研修 (後期)	S	2 / 14～15	札幌市

## (2) 職場内研修の実施状況

### ・法人内研修

研修名	派遣職員	実施日	開催場所
あけぼの福祉会法人内研修 (4年以上職員対象)	S / K K / T	8 / 23	岩内町
あけぼの福祉会法人内研修 (4年以上職員対象)	H / K K / I S	11 / 21	岩内町
あけぼの福祉会法人内研修 (管理職々員対象)	T / K	12 / 6	岩内町

### ・事業所内研修

#### 【虐待防止委員会】

- \* 委員会勉強会— [令和元年8月8日]  
⇒研修(報告)会として全職員対象に [令和元年8月30日] 実施
- \* 委員会勉強会— [令和2年1月9日]  
⇒研修(報告)会として全職員対象に [令和2年1月24日] 実施

#### 【虐待防止ミーティング】

- \* 毎月の職員会議時に実施

#### 【防犯研修】

- \* 防犯に対する講習会— [令和2年2月28日] 実施  
⇒岩内警察署生活安全課署員の方4名を講師としてお招きし、防犯対策とその対応における講義をDVDの鑑賞と『さすまた』活用の実演を通して受講した。

## 5. 令和元年度活動実施報告

### (1) ベーカリーサンライズ（就労移行支援・就労継続支援 B 型）

業務内容	担当者（職員）	所属利用者の方（H31.4.1～R2.3.31）
パン製造業務 袋詰め、仕分け 配達、営業業務 工場内清掃 食品表示作成	T、H、Y、 S K（就労支援員）	A. Hさん、O. Mさん、O. Eさん O. Mさん、O. Yさん、K. Hさん K. Uさん、K. Nさん、K. Sさん K. Rさん、K. Yさん、K. Yさん S. Sさん、S. Mさん、T. Nさん T. Yさん、T. Rさん、N. Tさん H. Yさん、Y. Kさん、W. Yさん
<p>【実施活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食用パン製造納品（岩内町、共和町、泊村、神恵内村、ニセコ町、蘭越町）</li> <li>・保育所、幼稚園等のパン製造納品（岩内町、共和町、神恵内村、蘭越町）</li> <li>・「オリジナルポイントカード」「岩内町タラ丸ポイントカード」実施。</li> <li>・「岩内町あきんど市」参加。＜毎月第3金曜日・土曜日＞</li> <li>・「岩内町ふるさと納税」におけるお礼の特産品として、パンの詰合せセットを実施継続。</li> <li>・北海道における「就労支援事業」－赤レンガ・チャレンジ 「北海道後志総合振興局」（倶知安町）のロビーでパンの販売実施。＜毎週木曜日通年＞</li> </ul> <p>＜主だった外部イベントでの販売＞</p> <p>6/24 まじめパン祭り（札幌／元気ショップいこ～る） 7/14、9/15 岩内軽トラック市 9/1 深層水まつり（岩内町地場産業サポートセンター） 9/13 全道特別支援学級研修会パン販売（岩内地方文化センター） 9/18 岩内老人クラブ大会（岩内地方文化センター） 10/4～6 G20 観光大臣会合 事前 PR 販売「まるしえ 20」（ニセコ町／高橋牧場）</p> <p>＜広報活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店の情報発信の手段として、Facebook（フェイスブック）を活用し、新商品やプチイベント、お買い得商品等々のお知らせについて写真を掲載しながら随時行った。</li> <li>・「あきんど市」チラシ掲載を活用（毎月1回）</li> <li>・波稻掲載（11月号）</li> <li>・利用者の方が作成したポスターやパンフレットを町内の商店や観光協会に設置し、観光客へ広く知って頂く活動に取り組んだ。また、毎週火曜日の「火曜市」や「あきんど市」のポスターを作成し、購入していただけるよう取り組んだ。</li> </ul>		

令和元年度パン販売売上額 24,495,053 円  
 営業日数 277 日 1日平均売上額 88,429 円

(2) ワークスサンライズ (就労移行支援・就労継続支援 B 型)

業務内容	担当者 (職員)	所属利用者の方 (H31.4.1~R2.3.31)
清掃、ワックス掛け 草刈り 水道メーター解体作業 受託企業内での業務 ・ヘルド洗浄業務 ・かぼちゃ種取り業務 ボランティア活動等	S、K、S、 I K (就労支援員)	A. Mさん、A. Tさん、I. Mさん I. Hさん、O. Mさん、K. Kさん K. Aさん、K. Kさん、K. Nさん K. Mさん、K. Yさん、K. Yさん S. Oさん、S. Yさん、T. Yさん T. Kさん、T. Kさん、N. Tさん H. Rさん、W. Sさん
<p><b>【実施活動内容】</b> 事業所、企業等からの受託業務 (作業) を就労活動として取り組んだ。</p> <p>◇岩内町 ・岩内町地域交流センター (建物一部) 及び岩内町民体育館 (館内一部) の清掃 (月曜日～金曜日 通年) ・岩内町東山グラウンド融雪時飛散碎石等の撤去 平成 31 年 4 月 16 日～令和元年 5 月 31 日 ・水道メーター解体作業 令和元年 10 月 31 日～令和 2 年 2 月 28 日</p> <p>◇岩内社会協議福祉会 ・岩内町デイサービスセンター (建物一部) の清掃 (月曜日・水曜日・金曜日 通年)</p> <p>◇岩内厚生園 ・事業所内一部清掃及びワックス清掃 (火曜日・木曜日 通年)</p> <p>◇岩内商工会議所 ・建物一部の清掃 (月曜日～金曜日 通年)</p> <p>◇(株) 木地リード ・ヘルド洗浄業務 (月曜日～金曜日 通年) ・工場周辺環境整備 (草刈り業務) 令和元年 7 月 8 日～同 7 月 19 日</p> <p>◇岩内地域人材開発センター ・周辺環境整備 (草刈り業務) 令和元年 5 月 28 日～同 10 月 24 日</p> <p>◇日本アスパラガス (株) ・野菜加工場内かぼちゃ種取り作業 令和元年 9 月 25 日～同 12 月 12 日</p> <p>◇(社) 北海道社会事業協会岩内病院 ・周辺環境整備 (草刈り業務) 令和元年 6 月 1 日～同 10 月 10 日</p> <p>◇(株) 札幌建設 ・周辺環境整備 (草刈り業務) 令和元年 6 月 3 日～同 6 月 19 日</p> <p>◇あけぼの福祉会 ・岩内あけぼの学園 (学園内一部) の清掃及びワックス清掃 (火曜日・木曜日 通年) ・グループホーム関連施設の清掃及びワックス清掃、建物周辺清掃 (不定 通年)</p> <p>&lt;その他個人団体様からの受託業務&gt; 東山団地 3 号棟周辺環境整備 (草刈り) 令和元年 5 月 28 日～同 10 月 24 日 個人宅草刈り請負い (2 件)</p>		

令和元年度 受託業務収入 6,022,445 円

### (3) チアフルサンライズ (生活介護)

	担当者 (職員)	所属利用者の方 (H31.4.1~R2.3.31)																																				
	K、K、T N、K、I	O. Kさん、K. Tさん、S. Kさん T. Yさん、M. Hさん、Y. Kさん I. Tさん、O. Mさん、K. Tさん K. Aさん、S. Mさん T. Yさん																																				
<p><b>【実施活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンライズ利用者父母の協力をいただき、ご自宅の畑の一部を借用し、園芸活動に取り組んだ。また、収穫した一部作物をベーカリー店舗で販売した。</li> <li>・「株式会社 木地リード」から『プラスチックヘルド編み込み作業』の内職や新型コロナウイルス感染拡大防止対策用布マスク作りを作業活動として取り組んだ。</li> </ul> <p><b>*その他の活動</b></p> <table border="0"> <tr> <td>調理実習</td> <td>4月…お好み焼き</td> <td>5月…ナポリタン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月…焼きそば／フルーチェ</td> <td>7月…冷やしラーメン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月…チラシそば</td> <td>9月…カレーライス</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月…豚汁、南瓜しるこ</td> <td>11月…サンドウィッチ、シチュー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月…焼きそば、焼うどん</td> <td>1月…お好み焼き、もちピザ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月…たこ焼き、パンケーキ</td> <td>3月…焼うどん、いなり寿司</td> </tr> <tr> <td>レクリエーション</td> <td>4月…クッキー作り</td> <td>5月…トントンボイス相撲</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月…郷土館見学</td> <td>7月…あけぼの学園祭見学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月…外食</td> <td>9月…収穫祭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月…スポーツゲーム</td> <td>11月…Wii Fit</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月…ゲーム大会</td> <td>1月…ラジオ歌謡会</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月…DVD鑑賞</td> <td>3月…フライングディスク</td> </tr> </table> <p><b>令和元年度 活動作業収入 63,306円 &lt;(株)木地リード/農作活動&gt;</b></p>			調理実習	4月…お好み焼き	5月…ナポリタン		6月…焼きそば／フルーチェ	7月…冷やしラーメン		8月…チラシそば	9月…カレーライス		10月…豚汁、南瓜しるこ	11月…サンドウィッチ、シチュー		12月…焼きそば、焼うどん	1月…お好み焼き、もちピザ		2月…たこ焼き、パンケーキ	3月…焼うどん、いなり寿司	レクリエーション	4月…クッキー作り	5月…トントンボイス相撲		6月…郷土館見学	7月…あけぼの学園祭見学		8月…外食	9月…収穫祭		10月…スポーツゲーム	11月…Wii Fit		12月…ゲーム大会	1月…ラジオ歌謡会		2月…DVD鑑賞	3月…フライングディスク
調理実習	4月…お好み焼き	5月…ナポリタン																																				
	6月…焼きそば／フルーチェ	7月…冷やしラーメン																																				
	8月…チラシそば	9月…カレーライス																																				
	10月…豚汁、南瓜しるこ	11月…サンドウィッチ、シチュー																																				
	12月…焼きそば、焼うどん	1月…お好み焼き、もちピザ																																				
	2月…たこ焼き、パンケーキ	3月…焼うどん、いなり寿司																																				
レクリエーション	4月…クッキー作り	5月…トントンボイス相撲																																				
	6月…郷土館見学	7月…あけぼの学園祭見学																																				
	8月…外食	9月…収穫祭																																				
	10月…スポーツゲーム	11月…Wii Fit																																				
	12月…ゲーム大会	1月…ラジオ歌謡会																																				
	2月…DVD鑑賞	3月…フライングディスク																																				

### (4) 事業所全体としての活動

- ・共同募金会より受託したパンフレット袋詰めを事業所全体の作業として取り組んだ。  
<平成31年4月・令和元年7月 2回 活動作業収入 10,619円>

・チアフルの日中活動の一つとして防犯啓発文を記載したタグを作成し、ベーカリーサンライズで食パン系に取り付け、地域の方々にCSR活動(防犯啓発活動)を行った。  
<令和元年12月25日~実施>

- ・歳末助け合い募金として、店舗設置の赤い羽根募金箱、そしてサンライズ利用者の方の親睦会及び職員親睦会から募金協力を行った。  
<岩内町社会福祉協議会/令和元年12月28日>

## 6. 令和元年度年間行事実施報告

### <地域貢献事業>

#### 【北海道日本ハム F's ベースボールアカデミーG 野球教室】開催

日 程	令和元年 8 月 10 日
場 所	共和町営野球場
講 師	須永 英輝氏／村田 和哉氏
状 況	<p>事業としては今年で 16 回目の開催。—法人事業—  「北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミーグループ」  による野球教室を、今年度は岩宇四ヶ町村の中学生を対象に開催。  —26 名参加—  当日は晴天に恵まれ、参加して下さった中学生の皆さんは、両講師  の熱心な指導に対し真剣に耳を傾け、一つひとつのプレーを全力で取  り組んでいる姿がたいへん印象的であった。  事故、怪我等もなく、1 日のプログラムを無事終了する。</p>

### <利用者日帰り旅行>

日 程	令和元年 8 月 31 日、9 月 7 日、14 日、21 日
場 所	<p>* ショッピング《イオンモール札幌発寒店》  * プロ野球観戦 《札幌ドーム》</p>
状 況	<p>毎年恒例の利用者旅行を、今年も四グループの班に分け、上記の日  程で各々実施。それぞれが思い思いに堪能し、事故、怪我等もなく各  オプションを無事に楽しく過ごすことができた。</p>

### <北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミーグループ交流会>

日 程	令和元年 10 月 19 日
場 所	岩内町民体育館
選手 OB	荒井 修光氏／村田 和哉氏
状 況	<p>サンライズ利用者・岩内町障がい児親の会 — 24 名参加 —  毎年すっかり恒例となったファイターズアカデミーグループの皆  さんとの交流会。(ストラックアウト/ティーボール)  参加して下さった利用者の方々も終始笑いが絶えず、限られた短い  時間の中ではあったが、有意義でリフレッシュとなるひと時を過ごす  ことができた。  「ベースボールアカデミーグループの皆様には、ご多忙中にもかかわらず、毎年交流会という形で慰問に来て下さり、心から感謝申し上げる次第です。」</p>

### <クリスマス・忘年会>

日 程	令和元年 12 月 6 日
場 所	いわない高原ホテル
状 況	<p>当日は、苦情解決第三者委員 2 名にもご出席をいただき、1 年の事  業活動の労を利用者の方、保護者の方そして職員相互にねぎらいなが  ら、楽しいひと時を過ごした。</p>

<新年会>

日 程	令和 2 年 1 月 24 日
場 所	サンライズ食堂
状 況	当日は、理事長にもご出席いただき、利用者の方、職員全員で昼食を楽しみながら、今年 1 年の抱負について語り合った。

## 7. 令和元年度諸活動実施報告

(1) レクリエーション活動について《土曜日実施（一部実施除く）》

4 月 ドライブ（神恵内道の駅）33 名参加（4/13）

5 月 カラオケ（歌屋）22 名参加（5/25）

6 月 DVD 鑑賞（サンライズ 2 階 食堂）15 名参加（6/22）

7 月 軽運動（ほくでん体育館）17 名参加（7/20）

8 月 ボウリング（ファミリーボウル岩内）29 名参加（8/24）

※日帰り旅行

9 月 ※日帰り旅行

10 月 ※北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミーグループ交流会

11 月 カラオケ 20 名参加（11/16）

12 月 ※クリスマス忘年会

1 月 ボウリング（ファミリーボウル岩内）25 名参加（1/18）

2 月 未実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

3 月 未実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

（※印については年間行事実施報告参照。）

(2) 工賃の支給について

【別紙 1. 令和元年度工賃支給管理表参照】

(3) 保護者との連携

・ 第 19 回父母会定期総会／第 29 回保護者職員懇談会＜令和元年 7 月 26 日＞

・ 父母交流会「松尾ジンギスカン」＜令和元年 10 月 5 日＞

今後についても保護者と職員が連携し、利用者支援の協力体制を強化していく。

(4) 苦情処理の対応

① 苦情受付箱の設置

事業所内 2 階食堂階段付近へ常設。サービス支援に関する苦情や申し出、相談等に関する投函数 0 件。

② 苦情解決の体制

利用者の方からの相談等の申し出は何点かあり、事業所の別に定める苦情解決担当者＜管理者（サービス管理責任者）・課長補佐＞が受付し、その都度対応を行った。

③ 苦情解決第三者委員への報告（令和元年 12 月 26 日実施）

第三者委員（N. H 氏、H. Y 氏）に利用者の方から支援の対応に関する要望 1 件と利用者の方の利用状況について報告を行った。

※ 要望 1 件の報告（平成 31 年 1 月～令和元年 12 月分）

## 8. 令和元年度防災訓練実施報告

日時	訓練の種別	参加者数	訓練の概要
R1.6/26	地震に対する避難訓練 ＜自主訓練＞	60名	<p>今回の訓練は職員のみ合意し、利用者の方へは周知せず行った。（一部利用者の方を除く）</p> <p>事業所内での自主訓練として実施しており、地震を想定して避難行動を進めている。自然災害は活動中、いつ発生するかわからないものなので、その状況に応じて職員が的確な避難指示を出し、避難へ移行できるように繰り返し説明している。</p> <p>日本各地で地震災害が起きていることから、事業所内における防災訓練をいずれも真剣に取り組み、少しでも自分の身は自分で守れるよう訓練していきましようかと伝えている。</p> <p>全体を通し怪我や事故も無く、無事に訓練を終えることができた。</p>
R1.10/29	火災における ・避難訓練 ・通報訓練 ・消火訓練	58名	<p>今回の訓練は職員のみ合意し、利用者の方へは周知せずに行った。（一部利用者の方には、事前周知している）</p> <p>避難・通報・消火と3種の訓練を実施しており、避難訓練では1階店舗棟事務所に設置している火災受信盤の信号に基づき、出火場所を確認してから初期消火活動及び避難誘導を始めることを意識して行っている。また初期消火の際には、「出火場所にある消火器ではなく、事務所に設置している消火器を持ち出し初期消火に当たることが望ましい」と助言頂いている。</p> <p>通報訓練においては、「消防署からの連絡に応答がない場合は自動的に出動するため、実際に出火している場合は、通報よりも避難を優先して構いません」とご指導頂いた。</p> <p>最後に実施した消火訓練では、利用者の方5名に代表してもらい、消火器の取り扱いから実践訓練までを行っている。利用者の方が事業所内で出火を目撃した場合は、すぐに職員へ知らせることを意識し、消火については「火の高さが自分の腰より低い位置の場合は職員で消火活動を行います。火の高さが腰以上の場合にはすぐに</p>

			<p>通報し避難して下さい」とご指導頂いた。</p> <p>全体を通して、消防署職員の方から「避難の際は落ち着いて、冷静に行動することが大切です。一度に大勢の方が同じドアから逃げようとする、出口が混雑してしまい、転んで怪我をすることもあります。職員の誘導に従い、安全に避難するよう心掛けて下さい。」とご指導頂いた。また、「避難・通報・消火とどの場合でも自分の安全を確認しながら行ってほしい」とあり、事業所内でも協議し、より迅速かつ安全に避難を進められるよう周知徹底していきたい。全体に怪我や事故も無く、無事訓練を終えている。</p>
R2.2/21	地震に対する避難訓練	65名	<p>今回の訓練は、地震災害における安全行動から避難移行までを確認するため、事前に利用者の方へ実施日を周知し行っている。</p> <p>地震発生を伝える放送を流し、職員の声掛け誘導のもと安全行動に移行している。避難移行中に一部利用者の方から、私語が聞かれたため、「有事の際には避難誘導など適切に伝え理解してもらうため、私語を慎み緊張感を持って訓練に臨むように」と全体を通して伝えている。</p> <p>訓練に立ち会って頂いた消防署職員の方から、「大きな地震の際は、冷蔵庫やラッカーなど大きな物も倒れる恐れがあるため、倒れる物を避け頭部を守りましょう。また職員の方については余裕があればブレーカーを落とし、復旧後の火災予防にも努めて下さい。」とご指導を頂いた。</p> <p>全体を通し怪我や事故もなく、無事訓練を終えている。</p>

【原子力防災訓練（連絡訓練）】

あけぼの学園への屋内退避訓練に利用者代表4名、職員1名で参加した。

＜令和2年2月13日実施＞





令和元年度  
共同生活援助事業所  
アットホームのぞみ  
事業報告書

社会福祉法人あけぼの福社会

# 目 次

I. 利用者の状況	P2～P3
1. 入退居状況	
2. 事業所と担当職員の状況	
II. 職員の状況	P3
職員の異動について	
III. 研修／会議等の状況	P4
1. 職場外研修／会議等の実施状況	
2. 職場内研修の実施状況	
IV. 大空会(利用者本人の会)年間行事の実施状況	P5
V. 生活支援の実施状況	P5～P6
1. 事業所運営会議の実施	
2. 夜勤職員の配置について	
3. グループホーム利用者の会(大空会)のバックアップ	
4. 事業実施内容について	
VI. 健康管理の実施状況	P6
1. 日常生活における予防及び衛生	
2. 日常の健康管理	
3. 健康診断の実施と各種検診の受診	
VII. 避難訓練について	P7

# I. 利用者の状況

## 1. 入退居状況

(アットホームのぞみ、ホームつばさ、ヴィラ・コスモス、ホーム翔、ラフォーレ)

月	現員	入退居状況		異動の状況
		入所	退所	
4	28			
5	28			
6	28			
7	28			
8	28			
9	28			
10	28			
11	28			
12	28			
1	28			
2	28			
3	28		1	入居女性利用者 退寮 札幌市GHへ
合計	336		1	

## 2. 事業所と担当職員の状況(令和2年3月31日現在)

あけぼの福祉会 共同生活援助事業所

管理者 小野 裕

### ①アットホームのぞみ

利用者名	担当職員			
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員
A. Yさん	Y. T	O. E	Y. F I. Y	O. Y
K. Tさん				K. M
S. Mさん				M. K
N. Kさん				S. S
N. Tさん				M. Y
N. Yさん				

### ②ホームつばさ

利用者名	担当職員			
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員
A. Hさん	Y. T	O. E	M. N S. H A. F	O. Y
O. Mさん				K. M
K. Sさん				M. K
K. Yさん				S. S
S. Oさん				M. Y
T. Yさん				

③ヴァイラ・コスモス

利用者名	担当職員			
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員
I. Tさん	Y. T	O. E	F. K I. Y	O. Y
I. Mさん				K. M
K. Yさん				M. K
S. Mさん				S. S
T. Yさん				M. Y

④ホーム翔

利用者名	担当職員				
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員	生活支援員 (夜間)
A. Tさん	Y. T	O. E	Y. Y S. H	O. Y	I. T K. M O. T
I. Hさん				K. M	
O. Mさん				M. K	
S. Yさん				S. S	
H. Yさん				M. Y	
W. Yさん					

⑤ラフォーレ

利用者名	担当職員				
	サービス管理 責任者	看護師	支援ワーカー	生活支援員	生活支援員 (夜間)
O. Kさん	Y. T	O. E	N. T K. M	O. Y	I. T K. M O. T
K. Tさん				K. M	
S. Kさん				M. K	
H. Yさん				S. S	
M. Hさん				M. Y	

※個人情報の取り扱いにご配慮下さいますよう、よろしくお願ひいたします。

## II. 職員の状況について

令和元年度職員の異動について

- ・令和 2年 3月31日付 I. T 生活支援員(夜間) あけぼの学園へ異動

### Ⅲ. 研修／会議等の状況

#### 1. 職場外研修／会議等の実施状況

月	日	研修名	開催地	派遣職員名
5	22～24	行動援護従事者養成研修	札幌市	Y. T M. K
6	10～12	〃	札幌市	Y. T M. K
6	14	アンガーマネジメントセミナー	札幌市	S. S
7	4～5	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌市	S. S
8	1	権利擁護セミナー	札幌市	M. Y
9	2～3	福祉専門職の為のキャリアアップセミナー	札幌市	K. M
9	11	全道GHスタッフ研修会	札幌市	Y. Y
9	12	サービス管理責任者更新研修	余市町	Y. T
9	12	事業者集団指導	倶知安町	O. Y
11	1	加齢化支援研修会	札幌市	O. Y
1	15～16	幹部職員研修会	札幌市	Y. T
2	17～18	全道施設長研修	札幌市	Y. T

#### 2・職場内研修の実施状況

- ・令和元年10月17日 選ばれる会社になる為の経営戦略と人材の採用  
(あけぼの福祉会が共催した研修に参加)
- ・令和2年1月22日 防犯対策講習会(あけぼの学園で実施した研修に参加)
- ・平成2年2月6日 障がい者の権利擁護について(あけぼの学園で実施した研修に参加)

#### IV. 大空会(利用者本人の会)年間行事の実施状況

月	活動内容	月	活動内容
4月	役員会	10月	役員会 大空会旅行(各ホーム毎)
5月	定例会	11月	定例会
6月	役員会 大空会交流会	12月	役員会
7月	定例会	1月	定例会
8月	役員会	2月	定例会 新年会
9月	定例会 大空会旅行(各ホーム毎)	3月	定例会

#### V. 生活支援の実施状況

##### 1. 事業所運営会議の実施

職員会議前に、役職職員が議題を調整、周知後日程を定め毎月実施した。また、各グループホームに係るスタッフが随時、ショートミーティングを行い業務の統一を図った。

##### 2. 夜勤職員の配置について

夜勤職員を円山地区と大浜地区にそれぞれ1名ずつ配置した。なお、大浜地区の夜勤者については近隣のグループホーム全体(アットホームのぞみ、ホームつばさ、ヴィラ・コスモス)の急病等緊急時の対応も行なうこととし、夜間における安全体制を確保した。

##### 3. グループホーム利用者の会(大空会)のバックアップ

利用者の会(大空会)が発足して23年目を迎え、利用者自身が地域での生活のことや自分たちの将来について考える場、またスポーツや余暇を通して交流を図る場として大切な役割を担っている。(今年度は、ボーリング大会に2名、卓球大会に1名参加)

役員会と定例会を隔月で開催し、円滑に話し合いが進むようにサポートを行った。

##### 4. 事業実施内容について(定例会・役員会は除く)

###### ① 大空会交流会

・令和元年6月1日

ファミリーボウル岩内、松尾ジンギスカン

###### ② 大空会新年会

・令和2年2月7日

日本海

###### ③ 大空会旅行

・令和元年9月～10月

5カ所それぞれのGH毎で日帰り旅行

余市・小樽・札幌・ニセコ方面

###### ④ その他の行事《個人実施状況含む》

・4月20日 全町クリーンナップ運動参加

・4月28日 小樽市外出～買物(2名)

・4月29日 小樽市外出～買物(3名)

・5月4日及び5日 各ホーム毎に近郊へのGW日帰り旅行

- ・ 6月14日 健康診断（前期）
- ・ 6月26日～27日 札幌市外出～買物（2名）
- ・ 6月26日 函館市外出～観光・買物（1名）
- ・ 7月7日～9日 岩内神社祭り グループホーム毎で外出
- ・ 7月11日 小樽市外出～買物・映画鑑賞
- ・ 7月20日 アリスの里町内会バーベキュー参加 利用者5名・職員1名
- ・ 8月1日 札幌市外出～買物（2名）
- ・ 8月1日～2日 札幌市外出～買物（1名）
- ・ 8月7日 石狩市外出～お墓参り（1名）
- ・ 8月8日～9日 旭川市外出～買物・お墓参り（1名）
- ・ 8月31日 お笑いオンステージ鑑賞（17名）岩内町
- ・ 9月 各GH毎に日帰り旅行
- ・ 10月10日 小樽市へ外出～買物（1名）
- ・ 10月15日 小樽市へ外出～買物（2名）
- ・ 10月20日 北海道障がい者ボーリング大会参加（2名）小樽市
- ・ 10月29日 小樽市へ外出～買物（2名）
- ・ 11月4日 北海道障がい者卓球大会参加（1名）札幌市
- ・ 11月12日～15日 名古屋旅行（2名）
- ・ 11月19日～22日 大阪旅行（4名）
- ・ 12月12日～13日 札幌市外出～買物（1名）
- ・ 12月18日～19日 札幌市外出～買物・ミュージカル鑑賞（2名）
- ・ 12月22日～23日 札幌外出 クリスマスディナーショー参加（2名）
- ・ 1月28日 健康診断（後期）
- ・ 2月1日～2日 札幌市外出～買物・プロレス観戦（2名）
- ・ 2月14日 八代亜紀コンサート鑑賞（17名）岩内町
- ・ 2月9日～10日 札幌市外出～買い物（1名）

## VI. 健康管理の実施状況

### 1. 日常生活における予防及び衛生

- ① 生活習慣として、手洗い及び手指消毒を励行する事とし（洗面所にはアルコール消毒機器を常設）また、手拭用のタオルを用意し、一回毎一人一枚ずつ使いきるようにし、間接的な感染を防いだ。
- ② 入浴時には全身の怪我や皮膚の状態を観察する等し、異常があれば迅速に対応した。
- ③ 温度、湿度の調整を心掛けた。
- ④ 怪我等が予測される環境については、速やかに整備を行った。

### 2. 日常の健康管理

- ① 検温は毎朝測定し、異常のあるときは、看護師に連絡し通院、又は常備薬で対応した。
- ② 週1回体脂肪、血圧を測定し健康状況の把握に努めた。
- ③ インフルエンザの予防接種を行った。
- ④ 感染症予防のマニュアルを作成し、健康管理に努めた。
- ⑤ 通院後の見守りや静養等に関し、細心の注意を払い悪化を防いだ。



### 3. 健康診断の実施と各種検診の受診

- ① 年2回の健康診断の他、岩内町で実施する各種検診(胃癌、肺癌、結核、婦人科検診)を受診し、早期発見に努めた。
- ② 町内の歯科に協力を依頼し、歯科検診および治療に努めた。

### 4. 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 北海道内でも流行の兆しがあることから、体温と体調変化の注視、通院・外出時のマスク着用及び帰寮した際の手洗いを徹底した。

## VII. 避難訓練について

- ① 年4回、火災を予測しての避難訓練、通報訓練を実施し、消防署への報告を行った。
- ② 年2回津波、地震を想定しての避難訓練を行った。
- ③ 避難場所、避難待機場所を整備し、日常的に災害についての意識付を行った。
- ④ 原子力災害について、岩内町防災連絡会への出席、さらには実際の広域避難訓練へ参加し、意識の向上を図った。

#### 《広域避難訓練》

令和2年2月13日 広域避難は実施せず、あけぼの学園への避難訓練実施  
利用者3名、職員2名参加

令和元年度 事業報告書  
岩宇地区相談支援センター

社会福祉法人あけぼの福祉会

## I. 相談支援事業の状況について

### 1. 相談支援町村別実績

	身体	知的	精神	発達	重身	障がい児	その他	合計	前年
岩内町	15	85	33	2	4	46	8	186	186
共和町	9	19	9	3	2	26	0	67	67
泊村	1	10	1	3	0	11	0	27	27
神恵内	0	2	0	0	1	1	1	6	6
その他	0	35	2	0	0	1	0	37	37
合計	25	151	45	8	7	85	1	331	323
前年	25	150	42	6	7	78	10	323	

※その他の地域 札幌市、小樽市、千歳市、島牧村、森町、蘭越町、黒松内町、京極町、石狩市、函館市、帯広市

### 2. 相談支援方法別実績

	身体	知的	精神	発達	重身	障がい児	その他	合計	前年
訪問	74	338	238	7	34	129	4	824	837
来所	3	123	70	16	13	115	0	340	276
同行	6	32	22	0	0	5	0	65	63
電話	103	402	389	22	69	253	5	1243	856
郵便等	5	75	15	0	50	51	0	196	118
関係機関	322	1101	798	26	187	626	13	3073	2566
事務業務	36	369	120	2	51	293	0	871	837
その他	0	3	5	0	1	10	2	21	14
合計	549	2,443	1657	73	405	1,482	24	6,633	5,567
前年	452	2088	1304	56	408	1,192	67	5,567	

### 3. 計画相談件数

事業区分	特定相談	障がい児	合計	前年
利用計画	92	55	147	223
モニタリング	207	96	303	251
合計	299	151	450	476

### 4. 相談実件数

年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
相談件数	3,638	5,636	6,138	5,567	6,633

## Ⅱ・相談業務研修等の実施状況

開催年月日	研修名	開催地	参加職員
4月16日	後志協会定期総会	小樽市	I. M
4月16日	施設見学 ソアレ	札幌市	H. Y
4月16日	後志連絡協議会	倶知安町	O. R
5月22日～ 5月23日	全道施設長研修	札幌市	I. M H. Y
5月23日～ 5月24日	行動援護従事者研修前期日程	札幌市	K. S
6月11日～ 6月12日	行動援護従事者研修後期日程	札幌市	K. S
6月17日	障がい児親の会施設見学	古平町	H. Y
6月20日	後志連絡協議会	寿都町	H. Y
6月20日	余市養護学校見学	余市町	O. R
7月29日	後志連絡協議会	倶知安町	O. R
8月8日	後志ジョブフェス	倶知安町	H. Y
8月22日	後志連絡協議会	余市町	H. Y
9月26日	発達支援職員実践研修	倶知安町	H. Y
9月27日	後志連絡協議会	倶知安町	O. R
10月8日～ 10月9日	全道施設職員従事者研修大会	札幌市	I. M
10月18日	地域移行協議会	倶知安町	O. R

10月24日	後志連絡協議会	小樽市	O. R、K. S
10月30日	後志家族連合会	小樽市	I. M
11月12日	スーパービジョン研修	札幌市	I. M
11月28日	後志連絡協議会	倶知安町	H. Y
1月15日～ 1月16日	幹部職員研修	倶知安町	O. R
1月31日	相談支援セミナー	札幌市	I. M、H. Y
2月17日～ 2月18日	全道施設長研修	札幌市	I. M

### Ⅲ・岩宇地区自立支援協議会の活動状況について

#### 1・全体会議

- ・2020年3月 書面にて会議 ※新型コロナ感染拡大防止のため。

#### 2・事務局会議

- ・4, 6, 8, 10, 12, 1, 3月実施

#### 3・担当者会議

- ・5, 7, 9, 11, 2月実施

#### 4・岩宇地区自立支援協議会 講演会（岩宇4町村、岩内あけぼの学園共催）

① 日時 令和元年 10月17日（木）

② 場所 岩内地方文化センター

③ 講演内容

##### I・「選ばれる会社になるための経営戦略と人材の採用」

株式会社 3eee 代表取締役 T. N 氏

##### II・「お子さんの気になる行動とそのワケ～作業療法士の視点から～」

札幌すがた医院 作業療法士 N. R 氏

5・おしゃべりティータイム（障がい児親の会、協議会共催）

- ① 日時 令和元年 11 月 11 日
- ②場所 岩内町地域交流センター内

6・障がい者支援関連協議会への出席

- ①後志地域相談支援連絡協議会
- ・4, 6, 7, 8, 9, 10, 11 月実施

- ②後志圏域地域生活支援連絡協議会

- ・10 月実施

- ③後志圏域就労部会連絡協議会「ワークしりべし」

- ・6 月実施

7・不登校（障がい児）・ひきこもり等の支援について

○不登校やひきこもりの多くの方が発達障がいを併発している事があり、医師から診断を受けておらず手帳も交付されていない。関りを持つためのツールとして漫画や DVD を視聴できる環境（プレイルーム）を用意した。2 名の方がプレイルームを利用する事で他者と関わり生活力を養い、4 月から就労支援事業所へ通えるようになった。

現在は、2 名の方がプレイルームを時折利用している。

8・令和元年度の相談傾向、地域課題について

- ① 後志振興局の就労支援員から触法（軽犯罪等）ケースの紹介が数件あり、前科がある事や再犯の可能性があるため、利用出来る福祉サービスや就労先がなく、社会に生き辛さを感じている。社会的判断が困難な障がいと環境が犯罪を行わせており、支援や環境を整える事で再犯せず安定した生活を送る事ができている。
- ② 虐待や DV 等の疑われるケース等で、緊急時受け入れ可能な居住や保護できる場所が必要不可欠であり、4 町村に 1 か所用意して頂けるよう協議会で検討している。
- ③ 岩宇 4 町村に、重度心身障がい児者や医療的ケアが必要な方の受け入れ先がなく、遠方（札幌）などしか受け入れ先がない。重度心身障がい児者や医療的ケア児の協議の場もないため、事例検討等を 4 か町村と協議の場の設置を検討している。